

家庭的保育における保育室の平面構成と利用実態に関する研究 東京 23 区内の認可・認定保育を対象として

A Study on Plan Composition and Actual Condition of Nursery Rooms On Private Family Day Care Approved / Certified Childcare in Tokyo 23 Wards

○中村直¹, 堀切梨奈子², 佐藤慎也²Nao Nakamura¹, Rinako Horikiri², Shinya Satoh²

With a declining birthrate and aging society, while children are decreasing, while a large number of standby children are present, we focused on home-based childcare that provides childcare in existing buildings. In this study, we will grasp the plan configuration of nursery rooms on private family day care in the 23 wards of Tokyo and the remodeling place etc from the field survey, we will look for future problems and expect to be helpful for future childcare environment improvement.

1. 研究背景と目的

現在、働く女性の増加や子育てに対する価値観の変化、子育て費用問題などにより、出生率が下がり、少子化がますます進んでいる。さらに、出産したにも関わらず、保育所や幼稚園に入れないといった問題も起きている。そのため、0～2歳における待機児童は多く、特に都市部において、顕著に多い傾向にある。しかし、保育施設が増えていないわけではない。保育施設は増加しているが、保育のニーズが高まってきているために、数が追いつかないのである。子育て施設の新設は、多額の費用と時間を必要とし、多数の保育士が必要となる。一方で、自宅の一部や空室のマンションの一室を借りながら、少人数による保育環境をつくっている家庭的保育という形態がある。事業開始までのコストが大幅に削減でき、時間を短縮できる上、アットホームな保育を行えるという点で、近年ニーズが高まってきており、今後も少子化対策のひとつとして、家庭的保育の増加が期待されている。

本研究では、待機児童数の多い東京 23 区内の家庭的保育において、実際の保育環境の把握と保育室の平面構成や改修箇所を調査することで、既存建築における保育の可能性を把握し、保育環境を整えていくための一助になることを目的とする。

2. 研究方法と対象

東京 23 区内の現在までの家庭的保育を行っている保育室を対象に実地調査を行うことで、保育室の平面構成や改修箇所、周辺環境の分析などを行い、利用実態の把握とともに総括を行う。

3. 家庭的保育とは

家庭的保育とは、厚生労働省による「乳児又は幼児

について、家庭的保育者の居宅、その他の場所において、家庭的保育者による保育を行う事業」を指す。また、2015 年から成立した「子ども・子育て支援新制度」^{註1)}により、財政支援方法が変更され、家庭的保育は地域型保育給付^{註2)}に位置付けられた。

表 1 家庭的保育の概要

職員	資格	保育室等	給食	児童人数
0～2歳児 (児童:保育者)3:1 家庭的保育補助者付き (児童:保育者+補助者) 5:2	家庭的保育者 (+家庭的保育補助者) ※市町村長が行う研修終了した保育士、保育士と同等以上の知識及び経緯を有すると市長村長が認める場合	0歳～2歳児 1人当たり3.3㎡	自園調理 (連携施設等から搬入可) 調理設備 調理員 (3名以下の場合、家庭的保育補助者を置き、調理を担当すること可)	1～5名

4. 実地調査

現在、家庭的保育における保育室がどのように使われているかを把握するため、8区の認可家庭的保育室 12 件に対して調査を行った(表 3)。調査は、保育室の平面構成の把握、保育室の使い方や外部空間などに関するヒアリング、児童観察を行った。

① 保育室の平面構成

7 件(No. 1～4, 8, 10, 11)は 1 室を保育室として設けており、昼寝、遊び、食事を同じ部屋で行っているが、食事は、隣接する部屋で食べている場合もある。4 件(No. 5～7, 9)は扉や壁の改修を行い、隣室と一体的に使用していた。家具で緩やかに空間を分けたり、寝るときだけ仕切れるなど工夫も見られた。No. 12 は、保育室として 2 部屋以上を使用しており、廊下を介して、保育室から別の保育室の移動がなされていた。

② 利用面積

表 3 の利用面積は、区に登録している保育室に加え、実際に児童が使用しているスペースとする。表 3 から、児童定員 5 人の保育室は 3 人の事例に比べ、子供 1 人

当たりたりの面積が小さいことが分かる。さらに、5 人の場合は補助者が多いため、人(子供+大人)1人当たりの面積も小さいことが分かった。これは、表2から分かるように、3人保育では登録している室面積が小さいため、隣接する部屋が存在し、子供たちがはみ出して遊ぶ傾向にあるためだと考えられる。保育室と隣接する部屋の間では、襖や扉は外されていることが多く、子供の移動がスムーズにできるようになっていた。また、おもちゃが多く、収納不足により床に置いているため、保育スペースが小さくなってしまっているといった問題も発生していた。

表2 調査対象各平面図 S=1/600



③ 改修箇所

11 件が、改修工事を行っていた。改修箇所は様々であるが、②で述べた通り、一番多かった改修は、扉を外す、スライド式にするなどの扉部分であった。次に、多く見られたのは、「子ども・子育て支援新制度」による給食提供の要請のためのキッチン改修であり、クローゼット内をすべてキッチンにする住宅もあった。No. 3は、元々、家庭的保育をすることを前提に建て替え工事を 30 年前に行っていた。No. 2は、美容院をリノベーションし、シャンプー台が子供達の洗面台に利用されているなど工夫がなされていた。

④ 外部空間・周辺環境

家庭的保育に園庭はないが、戸建住宅では、ポーチや駐車場、屋上など、マンションでは、ベランダが、水遊びなどの外遊びの場として利用されており、日差しよけや芝生マットを敷くなど、子供達の外遊び環境を整えている住宅が多かった。散歩は、雨や猛暑日を除いて、基本的には毎日昼前に近隣の公園や保育園の園庭開放などへに向かっていた。なお、家庭的保育には近隣に連携保育園が設定されており、定期的な健康診断を行ったり、保育者がやむを得ず、保育ができない場合の仮保育場所として設定されている。

5. 結論

今回の実地調査から、家庭的保育の保育室は、見通しの良いワンルーム型の保育室が多く、すべての保育者が、より良い保育環境を整備するため、改修もしくは建て替えを行っていた。また、外部環境を有効に使い、子供達の行動範囲を広げていた。一方で、連携保育園や運営面での課題は多くあり、実態把握が必要であると考えられる。

6. 参考文献

【註釈】

註1) <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/> : 「子ども・子育て支援新制度-内閣府」より。

註2) http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kodomo_kosodate/k_1/pdf/s4-3.pdf : 「地域型保育給付の創設-内閣府」より。

【参考文献】

- 1) 辻川 ひとみ・中野 明：全国の自治体における家庭的保育制度の実態と個人実施型施設の平面構成について,日本建築学会計画系論文集,79巻,695号,pp.89-96,2014,1月
- 2) 辻川 ひとみ・中野 明：「個人実施型」家庭的保育施設の運営内容と保育室の使い方について,日本建築学会計画系論文集,79巻,705号,pp.2387-2394,2014,11月
- 3) 生田 京子・早川 亜希・橋本 雅好・鶴飼 昭年：改修によって形成される小規模な保育空間に関する分析 名古屋グループ実施型家庭保育室の空間と使用の実態に関する研究,日本建築学会計画系論文集,95号,pp.77-82,2016
- 4) 五十嵐 祐子：日本における家庭的保育制度の変遷と家庭的保育制度研究の動向,浦和論叢(56),pp.1-29,2017,2月

表3 実地調査対象の概要

No.	所在地	形式	構造	保育階	給食	改修	保育室数	児童数 (人)	保育者+補 (人)	計 (人)	利用面積 (㎡)	子 (㎡/人)	子+大 (㎡/人)
1	練馬区大泉学園町	戸建 地上2階	木造	1階	有	有	1	3	3	6	14.2	4.7	2.4
2	文京区本駒込	テナント(美容院) 1階	RC造	1階	無	有	1	3	2	5	21	7.0	4.2
3	練馬区石神井台	戸建 地上3階地下1階	木造	1、2階	無	無	1	2	1	3	16.3	8.2	5.4
4	荒川区南千住	戸建 地上3階	木造	1階	有	有	1	5	3	8	17.3	3.5	2.2
5	新宿区市谷柳町	戸建 地上2階	木造	1階	有	有	1(合併)	3	2	5	15.4	5.1	3.1
6	杉並区高円寺南	戸建 地上3階	木造	1階	有	有	1(合併)	5	3	8	22	4.4	2.8
7	足立区大谷田	賃貸マンション 1階	RC造	1階	有	有	1(合併)	2	2	4	25.2	12.6	3
8	練馬区南大泉	賃貸マンション 地上2階(メゾネット)	RC造	1階	有	有	1	5	4	9	18.3	3.7	2.0
9	台東区寿	自宅マンション 2階	RC造	2階	有	有	1(合併)	4	3	7	28.6	7.2	4.1
10	文京区白山	戸建 地上2階	木造	1階	有	有	1	3	4	7	22	7.3	3.1
11	板橋区弥生町	ビル 地上5階(屋上有)	RC造	3階(+屋上)	有	有	1	3	2	5	13.8	4.6	2.8
12	練馬区石神井町	戸建 地上2階	木造	1階	有	有	2	3	2	5	18	6.0	3.6

…児童定員5人